

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2016年5月24日 第85号
TEL592-5000 fax 571-4346
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

集団的自衛権の本質は「他国防衛」、安倍政権を倒すために野党共闘に期待 孫崎享氏の講演好評！

9条の会・北九州憲法ネット事務局長 野瀬 秀洋

5月3日午後、ムーブで開かれた、第15回北九州憲法集会は、5百人の参加で、盛り上がり、憲法危機に反撃しようとする市民の熱気が感じられる意義ある集会になりました。

開会挨拶に立った、実行委員会の荒牧啓一弁護士（北九州憲法ネット座長）は、「今年11月3日に、憲法発布70年を迎える。安倍首相は、憲法違反の戦争法を3月29日に公布した。次の参議院選挙では、“憲法改正を選挙で争う”と発言しており、彼も、戦争法をつくって改めて、憲法9条の壁に気づいてのではないか。」と憲法の持つ力をお互いに認識することを喚起しました。

記念講演には、平和・憲法問題で、講演やインターネットで全国に発信し続けている元イラン大使の孫崎享氏が「集団的自衛権と憲法」と題して行いました。

・・嘘や詭弁で押し通すやり方・・

孫崎氏は、安倍首相の政治手法に疑問を呈する。多方面の著名人の証言や事実を紹介し、安倍首相の強引な行政運営に疑問・危険性を指摘する。

まず、安保法制（戦争法）から話が始まる。「集団的自衛権」を最も的確に表した言葉は元内閣法制局長官宮崎礼彦氏が言う「他国防衛」。また、相次ぐ政権からの報道への干渉が目にする。野坂昭如さんの発言（「あんな時代に戻っ



てしまう) や、天皇の発言の中「平和と民主主義を、守るべき大切なものとして、日本国憲法をつくり」を省いてNHKが放送した事を紹介。国連からも、報道の自由で日本国政府に注意を促される。これらの結果、報道の自由の国際ランキングが日本は72位となる。(中国からの報道規制が強まる香港が69位!)。大橋巨泉さんも「嘘と詭弁で押し通す政権のやり方にいっぺんの知性も感じられない」と話したことなど、次々と紹介。

・・テロ戦争は、テロを作る・・

話は、国際問題へ展開。中東でのアメリカを中心にした「テロ戦争」が展開されているが、その効果はあるのか？テロでの犠牲者数の動きは、2002年～2003年は、犠牲者は400～500人だった。9・11の「同時多発テロ」以降激増し、2015年には3万人に及んだ。

2001年の同時多発テルの犯人はオサマ・ビンラディンだとされている。彼がアメリカを攻撃する理由は、1996年に、米軍がイスラムの聖地、サウジアラビアにいたことが原因。この時に、米軍がここを出ておけば、あの同時多発テロは無かった筈。その後のイラク戦争などの一連の戦争もしなくて良かったし、その後に台頭してきたISの動きも無かったはずである。アメリカの判断の大きなミスがテロ戦争を泥沼にした。

・・マスメディアと国民の責任・・

政権のやり方におかしいと気づいた時に声を上げ、批判することが大切。しかし、今のマスコミが、これをしない。また、国民も“騙

された振り”をする。

例として、地震と原発の話がされた。大規模建造物には、「基準地震動」がある。川内原発は620ガルとされているが、今回起きた熊本地震では1580ガルが出た。しかし、原発の再稼働の基準審査をする責任者は、川内原発には運転の中止はさせなかった。マスコミも、この点の指摘が少ない。政権に楯突くことへの不安が国内にあると思う。これは、第2次大戦前夜の世情に似ている。また、北朝鮮、中国との日本の交渉での立場のおかしさも指摘した。最後に、こんな時代の中で、新しい動き、青年・学生の動きや、それに押されての野党共闘の動きに触れ、これが新しい時代をつくる希望と述べた。

講演終了後、会場では多くの質問が出され、それを一つ一つ、的確に、時には軽妙に回答する姿を見て、孫崎氏の知識の正確さ、幅広さ、頭脳の明晰さ、人柄の良さを印象付けさせられました。ほかの参加者からも好評の声が出ていました。

憲法随想

三輪 俊和

私は、5月15日開催の第53回北九州母親大会で、9条の会・北九州憲法ネットを代表して、来賓あいさつをさせていただきました。あいさつ文を掲載させていただきます。

みなさん、こんにちは。53年の歴史を刻んできました北九州母親大会ですが、今年は、戦争法に反対し安倍政治をストップさせるための参議選をひかえ、小林節さんをお迎えしての特別の大会ですね。会場いっぱいの皆さんの熱気を感じながら、ご挨拶させていただくことに感謝し、感動しています。

戦争法は、いのちの尊厳、人間の尊厳を根底から奪い去ります。

なぜなら、戦争に反対する若者を、人を殺し殺される戦場に、有無を言わず送りだすことになるからです。国家の命令で殺し殺されるために生まれてくる人など、いないのです。全国のママの会が「だれの子どももころさせない」という思いから立ち上がっているのは、いのちの尊厳、人間の尊厳を守りぬく、わが子をはぐく

む母親の本姓としての思いがあるからです。いのちの尊厳、人間の尊厳を守るということは、政治信条・党派はもちろん、あらゆる思想信条を超えた、人間としての根底的な要求です。

私たちは、戦争法に反対し、人間の尊厳を守るという一点でまとまることができます。

主権者として、「戦争はいやだ」「人間として幸せに生きたい」という当たりまえの一点でまとまることができます。野党共闘はもちろん、すべての人に幅広く呼び掛け、広範な国民共同を形成することができます。人間の尊厳を守るという私たちの共同と連帯の広がり、お互いの人としての尊厳を認め合い、互いに尊敬し合う仲間として共同していくことを基本とします。「子どもの未来をまもろう」と母親大会に参加されているみなさんは、一人一人が、



互いにリスペクト（尊敬）し、思いを共有されています。平和で豊かな社会をつくるために尽くす生き方を尊敬し合い、あかるく元気で、笑顔いっぱい活動をしていきましょう。国民・市民運動や母親運動などの社会運動が、何か特別の人がする運動ではなく、すべての国民が、自由に意見を出し合い活動し、民主的な社会関係がつくられていき、いわば新しい日本の文化になるような活動をしていこうではありませんか。

私たちは、夢を実現していきたい。

5兆円を超えた軍事費、5兆円しかない教育費。だったら、軍事費を削って教育費に回せば、子どもにかかる教育費は、すべて無償になるでは

ありませんか。

私たちは、夢を実現していきたい。

自衛隊を国防軍にするのではなく、たとえば国際災害救助隊にして、世界の平和と安全に貢献できる部隊に変えようじゃありませんか。

私たちは、夢を実現していきたい。

海外に自衛隊を派遣するのではなくて、お医者さんや看護師さん、学校の先生方を世界中に派遣して、なるほど日本は、本当に「人間の尊厳を守り抜く国」だと世界から尊敬されるような国づくりをしていこうではありませんか。

歴史的な選択を迫る参議選が近づいています。歴史的選択といっても、大変わかりやすい選択です。「戦争か平和のどちらがいいですか」という選択です。「アベノミクスか経済民主主義か」の選択です。要するに「人間の尊厳を守るか人間の尊厳を根底から奪うか」、どちらを選びますかという選択です。主権者は私たち一人ひとりです。第53回母親大会の大成功を契機に、安倍政権を打倒し、憲法が光り輝く未来を見据えて明るく元気に手を取り合って歴史の大道を進んでいきましょう。ありがとうございました。

平和をあきらめない北九州集会 雨の中、600人が参加

5月3日、憲法記念日。午後12時半からの、ムーブでの「憲法集会」が終わって、14時半からは、平和をあきらめない北九州ネット主催の市民集会が開かれました。あいにく、風は吹き、雨が強く降る悪天候でしたが、会場の勝山公園には、傘をさした人々が集まってきました。最終的には約600人が参加しました。前段はピースリーディング。演壇に上がった4人の出場者（なかなかの芸！）が感情豊かに、台本を読み上げる。演題は「9条が好きと言えなく



て・・・」。

後半は、民進党、共産党、社民党の代表のスピーチ、司会者による質問に答える形で、野党の共闘へのアピールを求める形態で進行了ました。民進党は城井崇前衆議院議員、共産党は田村貴昭衆議院議員、社民党は竹内信昭氏が出

場。登壇するとき、それぞれの好みのミュージックが流れ、笑いを誘っていました。最後は、3人が会場の拍手の中で、手をつなぐ、“共闘”のポーズで盛り上がりました。雨も止み、充実した憲法記念日の一日となりました。

「九条の会」メルマガ詳細版

2016年5月10日 第233号

戦争法の廃止を求める2000万人統一署名は 1200万筆を超えました。

2000万人署名は、さらに6月30日まで継続します。

戦争法の廃止を求める2000万人統一署名は、4月25日に集約した分をいよいよ5月19日に国会に請願として提出することになります。5月3日、東京の有明防災公園の集会で、実行委員会から署名数は1200万筆を超えたことが発表されました。

参院選挙が迫るなか、戦争法の危険性と廃止の重要性を訴える意義が大きいことから、署名運動は6月30日まで継続します。

5月19日の提出以降に集まった署名は、参院選後の臨時国会に提出しますので、重ねてのご奮闘をお願いします。

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

カンパありがとうございます。そして、お願い！

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」

- 4 月** 新地美智子 渡辺末子 平岡博 古賀三千人 弁護士荒牧啓一 玉井史太郎 清松賢治 原野武 江藤恭子 野瀬秀洋 田島勝彦 高智彦 小沢和秋 三浦日佐代 川原巍誠 近藤伊都子 松井岩美 松井玲子 中川絃子 南嘉久 内村敏男 有馬和子 勝木多美 崎長節子 塩塚茂嘉 **5 月** おりお総合法律事務所 三原富子 江本信義 江本俊恵 本田実 横井和江 石橋眞智子 桑田勲二 野瀬秀洋 黒坂佳男 安達恵美子 **メッセージ** ●少しですがかんぱを送ります。ますます憲法をまもり生かすことが大切になりました。共にがんばりましょう！ 4/19 S. W ●お世話下さる皆さんに感謝しています。私も94歳という高齢に達し、日々の活動も出来ませんので今後のことについては十分でないことを許してください。 4/22 M. K ●北海道衆院補選は残念でした。しかし野党統一に日本の明日がかかっています 4/25 F. T ●立憲主義を守り、戦争法を廃止するためにお互いがんばりましょう。今が本当にがんばり時です。 4/26 K. O ●よろしくお願いします。 4/26 H. M ●毎号ありがとうございます。 4/26 T. K ●わずかですが、気持ちです。がんばって下さい。 4/28 M. A ●北朝鮮・中国の関係で軍備が必要だ。憲法9条も変えなくてはと思っている人に、ぶつかるときちゃんと説明できないもどかしさ。学習の大切さ実感。平和が一番がんばりましょう。 5/2 N. E ●この危機的な情勢のもと、憲法を語る活動は、ますます大きな意義を増しています。微力ながらカンパします。 5/6 M. H

